

ここに注目！ **健康づくりをテーマにした会員制事業を創出し、商店街との連携により、まちづくりを推進する。**



ポイント

まちなか活性化協議会は、地域特性(歴史、文化、医療機関の集積等)を活かしながら、市民の“健康づくり”や“ネットワークづくり”を支援している。

中でも、市民の“健康づくり”を支援しつつ、地域の活性化を目指す『テクテク歩こう商店街』は先進的な事業であり、商店街への注目度も高まっている。

以前は25%を超えていた空き店舗率が18%台まで改善されるなど、継続した“まちづくり”の成果が発現してきている。

[商店街概要及び取組の背景]

商店街を取り巻く環境

まちなか活性化協議会を構成する本町1、2、3丁目・通町商店街は、熊本県八代市の中心市街地に位置し、古くから、八代城の城下町として発展してきた。

近年は、2店の大型ショッピングセンターが進出し、商店街を取り巻く環境が変化した。八代市中心市街地活性化基本計画の認定、地域商店街活性化法に係る事業計画の認定を基に継続的な“まちづくり”に取り組んでおり、イベント事業も活発に実施するなど、地域型の商店街として親しまれている。

[取組の概要・効果]

Plan・Do

“健康”で“商店街”を活性化!?

この事業を検討し始めた当初、歩数計を活用した“健康づくり”の支援を、商店街の活性化の事業として取り組んでいる事例は皆無だった。また、検討を進めるうちに、短期的に取り組んでいる事例が見つかったが、一時的なものでは参加者の本当の“健康づくり”にはつながらないと考え、あくまで年間通じて取り組める事業にこだわった。

また、本来の目的である商店街への来街数の増加、売上げの増加につなげられるよう、商店街でしかデータ



本町2丁目ハロウィンフェスティバル

の書き込みができない仕組み、歩数のランキングにて商品券が当たる仕組み、会員になるだけでプレゼントがもらえたり、計測に来るたびに割引が受けられたりする協力店を募集、紹介することで、商店街の活性化につながる仕組みを作り上げ、半年の事業期間で130人の会員を獲得し、順調な滑り出しとなった。

[効果の評価と改善策の実施等] Check・Action

“健康”を実感!! + “仲間”づくり にも一役\(^o^)/

『テクテク歩こう商店街』と名付けられた“健康づくり”を支援する事業は、理解を得られるまでに若干の時間を要したが、歩数計を持つことで、会員が“歩くこと”を意識するようになり、実際に体重が減ったなどの反応が聞かれるようになった。中には、会員を中心とした“階段上り”のグループが出現するなど、様々な場面でこの事業が話題に上るようになってきた。

さらに、今年度に入ると、「健康セミナー」の開催、商店街に商店街の端からの距離を表示し、ウォーキングコースに使用してもらう取組、ウォーキングマップ・ガイドブックの作成、会員を募ってウォーキング大会に参加するなど関連する取組が増え、会員の拡大に向けて、活発な事業展開が図られた。

〔実施体制〕

事業でつながる様々なネットワーク

まちなか活性化協議会の会議には、商工会議所と八代市がオブザーバーとして出席しており、事業の企画段階から連携している。

また、『テクテク歩こう商店街』に関しては、八代市で30年以上「健康フェア」という予防医学に関する取組を実施されている「健康フェア実行委員会」とも連携し、事業に関するアドバイスをいただいたり、「健康セミナー」で講師を引き受けていただいたりしている。

若者の参画については、30代から理事となっている店主も多く、すでに商店街の中心として活動している。加えて、教育機関、学生と連携して事業を実施するなど、門戸を広く開放している。

また、女性の参画については、各商店街に「おかみさん会」が存在し、連携している。

そのほかの事業でも、“まちづくり”に関わる様々なNPO・ボランティア団体等との交流が盛んである。

基本データ

所在地：熊本県八代市本町・通町

会員数：205名

店舗数：154店舗

関連URL：<http://8246yurutto.net/>



「テクテク歩こう商店街」で健康づくりを支援

キーパーソン



まちなか活性化協議会
事務局長兼タウンマネージャー
江崎 博美

健康づくりを切り口に商店街活性化

医商連携が叫ばれる中、当商店街でも、数年前から、健康づくりを商店街の活性化に生かせないかという話が持ち上がっていましたが、具体的な形になることはありませんでした。そんな中、当協議会のメ会長から「歩数計を使って何かできないか」という相談があり、各町内の理事長や市役所の担当者を中心に企画したのが、「テクテク歩こう商店街」で、あっという間に企画が生まれてしまいました。しかし、短期間で練られた企画なので150店舗もの店舗への理解・協力を得ることが逆に難しくなります。一番大切である合意形成を得る点において、最も苦労したと言えるでしょう。スタート1年目はまだまだ店主の企画への認識も浅く、批判的な意見も聞かれるなど、会員様にご迷惑をかけてしまうことも度々でしたが、会員の声、クレームを元に、徐々に企画の改善を図り、今では、会員のアイデアを

活かした企画へと進化を続けています。

また、事業を始めた当初は、メディアからも「絵にならない」という理由から、なかなか思うようには取り上げてもらえませんでした。1年を経て、ようやく興味を示していただき、今では全国放送にも取り上げられるなど、本当にありがたい限りです。

今後も、多くの方から応援いただける企画として、まだまだ広がる可能性を秘めた企画だと考えています。

市民が参加しやすいコミュニティ作り

当協議会は、「テクテク歩こう商店街」をきっかけに、収入を獲得し、補助金等に頼らない自主運営できる組織を目指しています。今は、市や会議所からの支援がなくては運営出来ない状態ですが、初めての収益事業が軌道に乗り出したこともあり、これから更に飛躍していくことを命題としています。

店主の中にも、ようやく、継続的な“まちづくり”を担う組織が必要だという考えが生まれ、少しずつですが、ボトムアップ型の“まちづくり”が形になってきています。老舗が多い商店街ゆえ、敷居が高いと見られがちですが、多くの市民が関わりやすいコミュニティを作ることが商店街再興のスタートになると考えています。